

執筆担当	所在地	畜種	キーワード
鳥取牧場 業務課	鳥取県 琴浦町	肉用牛	野生動物対策、捕獲ワナ、防鳥ネット、盗食防止

鳥取牧場における野生鳥獣害対策の紹介

畜産農場では、野生鳥獣の畜舎への侵入、飼料の盗み食い、ひいては家畜への攻撃といった被害により苦慮されていることが多く見受けられます。野生鳥獣による被害はそれだけでなく、家畜伝染病の病原体の侵入ルートの一つと考えられており、家畜伝染病の侵入防止の観点からも野生鳥獣対策は重要です。

家畜改良センター鳥取牧場では、野生鳥獣による被害防止対策を実施しており、その一部を紹介します。

1. 箱ワナによる野生鳥獣の捕獲

鳥取牧場では、牧場として地元自治体から有害鳥獣捕獲の許可を取得し、狩猟免許を所持する職員が箱ワナを設置して捕獲活動をしています。(野生鳥獣の捕獲は、「鳥獣保護管理法」により原則として禁止されていますが、例外として、市町村等に申請を行い許可を得られれば有害鳥獣の捕獲が出来るようになります。申請や捕獲した鳥獣の処分について詳しくは、市町村等にお問い合わせください。)



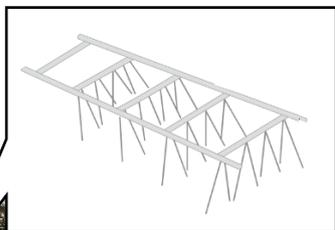
イノシシ捕獲用箱ワナ



カラス捕獲用箱ワナ

(大きさは3m×4m(底面)×3m(高さ))

左図: 箱ワナ入口の構造(農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル-鳥類編-H29」の図を一部改編)



カラス捕獲用箱ワナ入口

(羽ばたくときに入口内側の針金をカラスが嫌がり、一度入ると出られない構造になっている。)



実際に捕獲されたカラス

箱ワナは、農場周辺で加害個体の捕獲が可能で、初心者でも安全性が高いといったメリットがあります¹⁾。捕獲率を上げるために、誘引餌として近隣の協力店舗から提供を受けた食品残渣を使用し、被害の多いとうもろこし圃場の近くに設置しています。令和3年度は、イノシシを1頭、カラスを53羽捕獲しました。ちなみに、イノシシ用箱ワナの設置費用は¥66,000程度です(カラス捕獲用箱ワナについては、古くから現場で使用してきた物に修繕を繰り返してきたため算出が困難でした。)

2. 防鳥ネットによる牛舎への侵入防止対策

防鳥ネットは、対象物を完全に覆うことが出来れば侵入を防ぐことができるため、コストはかかりますが確実性の高い方法です²⁾。当场では、カラスなどの鳥の侵入を防止するため、防鳥ネットを牛舎の全ての開放部に設置しています。

防鳥ネットは、目合1.2cm、高さ3.7m×幅5.0mで¥35,000程度の物を使用し、人や車両の出入り口はカーテンのように開閉できるよう工夫をしています。



3. 飼料の盗み食い防止対策

牛舎内通路等で保管している飼料については、主にネズミ対策として保管場所に簡易的なケースを設置し、蓋つきのバケツを使用することで、野生鳥獣が飼料に触れることができないようにしています。



4. その他の対策

分娩牛の後産も野生鳥獣を誘引する要因となるため、長時間放置せず、速やかに処理しています。

また、野生鳥獣の巣や隠れ家を無くすため、牧場内の不要な物品の処分や雑草の刈取りなどを行うことも有効な野生鳥獣害対策です。



5. 終わりに

近年日本国内で問題となっている家畜の伝染病(豚熱、鳥インフルエンザ、ヨーネ病など)を引き起こす病原体については、野生鳥獣にも同様に感染することが分かっています。ですので、畜舎及び手指の洗浄・消毒やワクチン接種だけでなく、野生鳥獣を家畜に近づかせないことも伝染病対策として効果的です。当場の取組が参考になれば幸いです。

※1)、2)は、農林水産省のホームページに掲載されている「[野生鳥獣による被害防止マニュアル](#)」(←クリックすると該当ページへ移動します。)の情報を参考にしました。

1)野生鳥獣被害防止マニュアル-総合対策編-H30

2)野生鳥獣被害防止マニュアル-鳥類編-H29